



未来の先生展
2017

21世紀のリテラシーとは？ ～感情リテラシー・ワークショップ～

ワークショップ

開催日時

2017年 8月 26日(土) 14:20-15:50

場 所

武蔵野大学有明キャンパス 1号館3階 304教室

講演者

一般社団法人 アショカ・ジャパン

内容

「大地くんは、りんごを5つ持っています。七海ちゃんが3つ取りました。」算数の質問であれば、きっと「りんごはいくつ残っているのでしょうか？」と続くでしょう。

しかし、今の時代、私たちに問われることは、残りのりんごの数だけではなく、「**大地くんはどんな気持ちになったでしょう？**」という他者の気持ちになって考える力です。アショカでは、この力を**Cognitive Empathy**(認知的エンパシー)と呼んでいます。Cognitive(認知的)とあえて言うのは、「エンパシー」を「生まれつきの変えられない能力」として捉えるのではなく、人によって強弱はあるが「**訓練で伸ばせるスキル**」と捉えているからです。

「**エンパシーは(頭で)学ぶことはできない。(心で)捉えることができるだけ。**」とは、心の教育の第一人者メリー・ゴードンの言葉です。この21世紀のリテラシーとも言われる**Cognitive Empathy**や**感情リテラシー**についての理解を深めるためのワークショップを企画しています。

また、メリー・ゴードンの取り組み(**ルーツ・オブ・エンパシー**)や、いち早くエンパシーという21世紀型のリテラシーの重要性に気づき教育の柱として取り入れている**28カ国にある約280校のアショカ・チェンジメーカーズスクール**についてご紹介します。

アショカについて



アショカは、1980年に発足した世界最大のソーシャル・アントレプレナー(社会起業家)のグローバルなネットワークです。2017年時点で世界39カ国にカントリーオフィスを持ち、89カ国の約3,300人のアショカ・フェロー(アショカの基準で選出されたシステミック・チェンジメーカーとしての社会起業家)が活動しています。

15年ほど前まで、数百万人に一人の割合で見つかる社会起業家を発掘することだけを行っていましたが、「このままでは、社会の問題に対応しきれない。新しい時代には、誰もが**チェンジメーカーにならなくてはならない。**」という認識が、若者チェンジメーカーを「育てる」取り組みを生み出しました。目まぐるしく変化する新しい社会で生きていくのに必要なスキルは、「エンパシー」と「**チェンジメイキング・スキル**」であるという合意が生まれました。こうして、これらの資質を備えた若者を育成するための、三つのアプローチ：

- ①「**チェンジメーカーズスクール**」(小中高校)のネットワーク創り
- ②12歳～20歳の内発的チェンジメーカーを育てる「**ユースヴェンチャー**」
- ③社会をより良く変える人を輩出する大学のネットワーク創りの「**アショカU**」がスタートしました。

参加者へのメッセージ

アショカの上級フェローでもあるメリー・ゴードンは、2010年に国連識字デーの基調スピーカーとして招かれ、「文字」ではなく「感情」を読む能力としての「**感情リテラシー/emotional literacy**」の重要性を語りました。赤ちゃんとのふれあいを通じて小中学生がエンパシーを学ぶという彼女の取り組みのエッセンスの一部を、ワークショップでは皆さまにも体感していただきます！

